

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①自立と社会参加をめざし、系統性のある小・中・高一貫した教育課程の編成と学ぶ楽しさを実感し、主体的な活動を引き出す授業づくりに取り組む。	①-1 系統性のある教育課程に向けた検討を具体的に進める。 ①-2 ICT機器の活用を推進する。	①-1 「育てたい子ども像」や学部教育目標を観点別に整理し、小中高の系統性を意識した内容にする。 ①-2 ICT機器の活用について、実践事例を集積し、良い取組を発信する。	①-1 小中高の系統性を意識して学部教育目標を見直し、教育課程の改善に向けて検討をすすめることができたか。 ①-2 ICT機器を活用した授業の充実を図ることができたか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	①児童・生徒個々の個性を尊重し、教育的ニーズを適切に把握し、生活年齢、発達段階に合った指導・支援を組織的に行う。	①児童・生徒の教育的ニーズを把握するための客観的指標を活用し、それを指導計画に反映して指導・支援を行うとともに、その有効性と課題を検証する。	①-1 小中高の系統性を意識したアセスメント計画を検討し、個別教育計画に反映できるような仕組みをつくる。 ①-2 アセスメントについての研修会を企画・実施し、教員の理解を図る。	①-1 個別教育計画に反映できるアセスメント計画を作成することができたか。 ①-2 アセスメントについての研修会を企画・実施することができたか。					
3	進路指導・支援	①一人ひとりの将来の自立と社会参加のあり方を見据え、発達段階とライフステージに沿った進路指導・支援を組織的に行う。	①小中高それぞれのニーズにあわせた適切な進路に関する情報を提供するとともに、ライフステージに沿った進路指導・支援を行うことで、個別最適な進路指導に努める。	①-1 小中高それぞれの保護者のニーズにあわせたテーマでの学習会・見学会等を検討し、実施する。 ①-2 定期的な発信方法やHPへの掲載等を検討する。 ①-3 進路指導を更に効果的にするために、キャリア・パスポートの活用を進める。 ①-4 「せや-みつ進路ミーティング」は、三ツ境支援学校との協力体制を確立し、内容の充実を図る。	①-1 小中高それぞれの保護者のニーズにあわせたテーマでの学習会・見学会等を検討し、実施できたか。 ①-2 小中高それぞれに適切な進路情報を提供できたか。 ①-3 キャリア・パスポートの活用を進めることができたか。 ①-4 三ツ境支援学校との協力体制を確立し、内容の充実を図ることができたか。					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4 地域等との協働	①共生社会の実現に向けて、地域におけるセンター的機能を継続するとともに、コミュニティ・スクールとして地域との協働による教育活動を展開する交流及び共同学習を通じた児童・生徒の相互理解を図る。	①-1 本校のセンター的機能をより実際のなものにするために、学校コンサルテーションを意識した取組を推進する。 ①-2 地域との協働による教育活動を推進する。	①-1 学校コンサルテーションを意識し、学校の教育力を高めるための情報発信や助言等を積極的に行う。 ①-2-1 交流フェスティバルは部会形式で取り組みながら、引継ぎも含めて丁寧に進める。 ①-2-2 現在の価値観や地域のニーズ、職員の働き方などを踏まえ、地域資源の活用を積極的に進める。	①-1 情報発信や助言等を積極的に行うことができたか。それによってどのような成果が得られたか。 ①-2-1 部会形式で取り組み、地域と一体となって円滑に運営することができたか。 ①-2-2 現在の価値観や地域のニーズ、職員の働き方などを踏まえた地域資源の活用を進めることができたか。					
5 学校管理 学校運営	①児童・生徒が安心、安全に過ごせる教育環境の整備と危機管理体制を構築する。 ②事故、不祥事のない学校であるよう、管理・運営を行う。	①老朽化に対応した工事を安全に実施する。また、実際の場面や状況を意識した防災訓練等を実施する。 ②事故、不祥事を他人事ではなく自分事として捉える職場風土を醸成する。また、神奈川の教員の働き方改革加速化宣言(令和7年3月28日)を受け、働き方改革を推進する。	①-1 年間を通じて計画的に工事を実施するとともに、緊急時の対応を迅速に行う。 ①-2 水害や経路遮断等、様々な状況を想定した訓練を実施する。 ②-1 定期的にチェックシートを活用し、職員の意識向上を図るとともに、学部長・室長・グループリーダーを中心に、教員一人ひとりが参加できる研修会を企画・実施する。 ②-2 業務や行事等の精選を行う。また、外部人材の拡充や校務DX化の推進をする。	①-1 安全に、計画的に工事を実施することができたか。また、緊急時は迅速に対応できたか。 ①-2 実際の場面や状況を意識した訓練を実施できたか。 ②-1 定期的にチェックシートを活用することができたか。また、学部長・室長・グループリーダーを中心に、教員一人ひとりが参加できる研修会を企画・実施できたか。 ②-2 業務や行事等の精選を行うことができたか。また、外部人材の拡充や校務DX化の推進ができたか。					